

KIYOSE REPORT #01

新たな地域振興の取り組み 「クラフトな夜」に 込めた想い

清瀬市観光協会が主催する「クラフトな夜」は、市役所4階の展望ロビーを夕暮れから特別開放し、クラフトジン、日本酒、テキーラ、カクテルと、回ごとにテーマを変えて全4回開催。清瀬ゆかりの酒や地元食材を味わいながら、職人とお酒に造詣の深いゲストたちのトークに耳を傾ける時間が流れました。

清瀬には飲食店が多く、夜のにぎわいづくりに潜在的な力があります。「お酒は単なる嗜好品ではなく、地域を語る文化的な入り口。日本酒やクラフトドリンクを通じて清瀬の魅力を発信したい」と観光協会は話します。

第1夜は「クラフトジン」をテーマに、市内カフェ「CHACOT COFFEE」中本代表とジン専門メディア「ジンラボ ジャパン」佐藤代表を迎えて開催。清瀬産の蜂蜜を使った「きよはちジン」



の誕生秘話が披露されました。続く第2夜は「日本酒」。豊島屋酒造の田中社長が登壇し、日本酒「きよせ」の新ラベルを発表。市の花・木・鳥をモチーフにしたデザインに「まちの誇りを託した」と語りました。トーク後は試飲やペアリングフードの時間が設けられ、参加者同士の会話が弾みました。

来場者からは「今後も前例にとらわれず新しいことに挑戦する市役所であってほしい」「地域産業の振興につながる取り組みを応援したい」との声が寄せられました。単なるお酒のイベントに留まらず、清瀬市への郷土愛が広がります。

「クラフトな夜」は、市役所という公共空間を地域振興に活用する新たな取り組みでもあります。地域産品「きよせ棒」「やさいあられ」「キヨセ ゴーゴーカレー」の販売も行い、「清瀬まん」や清瀬産の生乳から生まれたチーズなど、地元の味とお酒のマリアージュを提案。昼とは違う“夜の清瀬”の魅力を感じられるひとときとなりました。

清瀬市観光協会の お 推し！



純米酒「きよせ」
180ml 380円(税込)

新しいラベルで、清瀬の香りをもう一杯

清瀬の名を冠した日本酒が、令和7年10月に装いも新たに登場しました。新しいラベルデザインは、清瀬育ちのグラフィックデザイナー・Fumingさんによるもの。武蔵野台地の地下水を、深さ150mの井戸から汲み上げて仕込む東村山市の豊島屋酒造の日本酒は、豊かな香りとすっきりとした味わいが魅力です。純米酒・純米吟醸・本醸造辛口の3種に加え、手軽に楽しめる180mlの純米酒も新登場。清瀬の風土を感じる一杯を、ぜひご家庭でもお楽しみください。

【日本酒「きよせ」販売箇所】

- ・加寿屋酒店 ・藤小西 元町店
- ・セブン-イレブン (清瀬松山一丁目店、清瀬野塩一丁目店、清瀬梅園二丁目店、清瀬中瀬五丁目店)
- 【飲食店での取り扱い店舗】
- ・酒膳処 吉家 ・いざかや楽笑 ・のみ処「」。



詳しい情報は
こちら

more! KIYOSE vol.08

発行：清瀬市シティプロモーション課
発行月：2025年11月
問合せ：☎042-497-1808 (直通)
制作：合同会社ハチコク社



清瀬市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



みんなの力で
大江戸線を清瀬市へ

本誌記載内容の無断転載はご遠慮ください。
©2025 more! KIYOSE all rights reserved.

あなたの声をお聞かせください

本誌へのご意見やご感想、
気になる情報や見てみたい企
画も募集中です。これまでの
号も合わせてご覧ください。

ご回答は
LoGoフォームへ

バックナンバーは
こちら

